

冊子資料の目次

資料番号	内容	右下スライド番号
資料1	浪江町からの報告	1~66
資料2	エリアマネジメントについて	67~78
資料3	事業費算定・補助金参考資料について	79~96
資料4-1	事業アイデアピッチ① 株式会社渡辺商店	97~118
資料4-2	事業アイデアピッチ② 一般社団法人SOMA	119~124
資料4-3	事業アイデアピッチ③ 株式会社伊達重機	125~147
資料5	個別事業テーマ別ワーキンググループについて	148~158

パーソナルモビリティを活用した地域回遊ネットワーク

～「歩きたくなるまち」をつくる、次世代モビリティシェア構想～



MIRAI STAND / WATA STAND

ウォーカブルな街に、まちとの距離を近づけるモビリティを

プロフィール



渡邊 魁杜

1998/9 福島県浪江町生まれ
実家が浪江町でガソリンスタンド渡辺商店を経営
芝浦工業大学大学院 建築学専攻 卒業
株式会社リクルート 在籍



川村 航大（一級建築士/宅地建物取引士）

1998/1 愛知県名古屋市生まれ
名城大学 理工学部 建築学科卒業
東京都立大学大学院 都市環境科学研究科 建築学域修了
株式会社青木茂建築工房 在籍

すべての住民が暮らしやすい町とは



「スーパーまでバスで行くのは良いけど、そこから歩いて買い物をするのがつらい…」

それがきっかけで、だんだん外出が億劫になっていったんです。

— 私の祖母が感じていた「小さな不便」

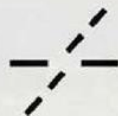
背景と「まち」の課題：なぜ今、シェアモビリティなのか

魅力的なスポットは点在しているが、それらをつなぐ「足」が不足している。



「点」で終わる観光

駅や道の駅には人が集まるが、町中の個店への回遊が生まれていない。



ラストワンマイルの断絶

バス停から目的地までの「あと少し」が、高齢者や徒歩観光客には大きな障壁。



機会損失

「行きたいけれど、歩くのが大変だから諦める」という消費の取りこぼし。



福島県内の年間免許返納者数 **約10,000人** (移動の足の喪失が深刻化)



今後増加が予測される高齢者や歩行困難者のラストワンマイルの移動をサポートすることで
誰もが暮らしやすいまちづくりを支えます

アンケートが示す「勝ち筋」：福祉用具から「乗りたいモビリティ」へ

2025年浪江十日市での調査（N=110）

施設導入への好感度

56.3%

「施設にWHILLがあると
好感度が上がる」

利用意向

45.4%

「歩行者ゾーンで利用したい」

ターゲットの変化

約50%が健康層

利用希望者の49.1%は健常者。
移動にエンタメ性を求めている。

- ・ パーソナルモビリティに若い方に乘っていただくことで、高齢者の心理的壁が壊せて、外出頻度が上がる兆し
- ・ 公共交通としての需要（歩道などのインフラ整備が課題）



WHILL走行エリア

出典：WHILL株式会社HP

浪江防災
コミュニティセンター

秋葉神社

F-REI予定地

研究支援ゾーン
(研究者滞在機能)

研究施設
ゾーン1
(一般)

連携・交流
ゾーン
(本部・連携機能)

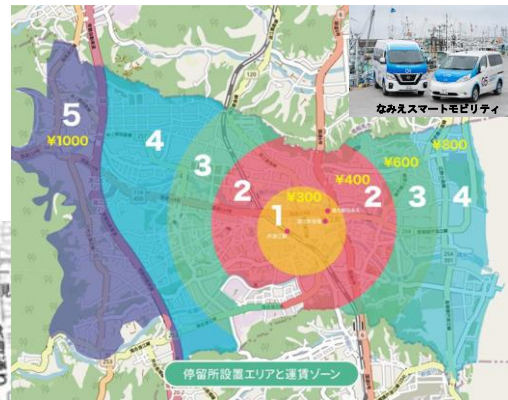
研究施設ゾーン2
(実験)

ふれあい
センターなみえ

ふれあい
グラウンド

歩行促進ゾーン外側をカバー

渡辺商店 (GS)



出典：日産スマートモビリティHP



電動キックボード・
自転車

歩行促進ゾーン外側
をカバー
※歩行者安全性を考慮

出典：YADEAJAPAN公式オンラインショップ

出典：国土地理院

浪江駅周辺整備計画部分出典：浪江駅周辺整備事業の平面図（令和5年2月3日区域変更）を加工

東側地区の歩行空間に応じた展開も検討中



運営スキーム：地域コミュニティの核となるガソリンスタンドの強み



メンテナンス・充電

ガソリンスタンドの整備士・設備をフル活用し、毎日の安全を担保。



機体配送・回収

自社トラックによるポート間の車両再配置（リバランス）が可能。



地域ネットワーク

既存の地域コミュニティ機能を活かし、有人でのサポートを提供。

ITベンチャーにはない『現場力』で、持続可能な運営を実現します。

利用シーンのイメージ



観光・周遊

駅から道の駅、そして請戸小へ。
風を感じる新しい観光体験。



日常の足

免許返納後のラストワンマイル。
買い物や通院を快適に。



イベント回遊

広い会場も疲れ知らず。
三世代で楽しむイベント参加。

将来展望とロードマップ

回遊性の向上 = まちの活性化

フェーズ1：実証・認知（Now）

主要2～3拠点（駅・道の駅）
でのスモールスタート。
協力店舗の募集。

フェーズ2：面展開（Expansion）

町内10箇所以上へ拡大。
アプリ連携、クーポンシステム
導入。

フェーズ3：インフラ化（Future）

都市計画との連携。
歩道整備・コンパクトシティ化
へのデータ活用。

私たちが用意するのは「キャンバス」です

共創パートナーシップの全体像



この「動く額縁」に、御社の技術やコンテンツという「絵の具」を提供してください。

移動×・・・で街を豊かに

例：移動×観光 ～街全体を動く美術館へ～



街
(Town) + 風景
(Scenery)



WHILL
(Mobility)



Open Air Museum
(Art Experience)

定義

街そのものを「美術館」、
風景を「アート」と再定義。

装置

WHILLは単なる移動手段ではなく、
風景を切り取る「動く額縁」であり
「特等席」。

戦略

「魅力的な場所はあるけど、移動手段が限定されているせいで来れなかった」を解決し、より町内の回遊そのものを楽しめるように。

Open Air Museum : 街のストーリーを「深く味わう」装置



- **Town = Museum**

エリア全体が展示場

- **Scenery = Art**

日常の風景が展示作品

- **WHILL = Moving Frame**

視点を安定させ、風景を切り取る「動く額縁」

車では見落としも、徒歩では遠すぎる「マイクロ・ストーリー」を鑑賞する体験装置。

コンテンツ連携

街の「点」と「点」をつなぎ、物語にする

道の駅で買い物し、遺構で学び、隠れた名店へ。
WHILLなら「疲れ」を知らずに、街の深部まで到達できます。



連携パートナー候補	一緒に実現したいこと（共創アイデア）
道の駅・地元飲食店	「食べ歩きモビリティ」作戦 駅から遠い名店も移動圏内に。「WHILL利用者限定の裏メニュー」や、買ったお土産を積める「専用カーゴ」を用意し、手ぶら観光を実現する。
震災遺構・観光施設	「祈りと学び」の巡礼ルート 歩いて回るには広すぎるエリアを、ガイドの解説を聞きながら静かに巡る。高齢の語り部さんと一緒に移動できる「伴走ツアー」の造成。
イベント主催者 （お祭り・花火大会）	「特等席」の移動観覧席 混雑するイベントでも、WHILL専用のビューイングエリアを設置。移動そのものをパレードの一部にしてしまう演出。

技術連携（R&D）

「課題先進地」という、最高の実験室を提供します

御社の最新技術を、ここ浪江町で「実戦投入」させてください。「屋外・高齢者・復興地」という過酷な環境で得られるデータは、機材コスト以上の価値（資産）になります。



連携パートナー候補	御社のメリット（ここでしか取れないデータ）（取れないデータ）
カメラ・映像機器メーカー	「極限環境」での耐久テストとUX実証 360度カメラ等の最新機材をご提供いただく代わりに、振動・天候変化のある屋外移動中での撮影データと、ユーザーの利用行動データをお返しします。
音声ガイド・翻訳アプリ開発	「多言語×位置情報」の精度検証 GPS連動ガイドを実装し、インバウンド客が「どの場所で・どの解説に反応したか」という詳細な行動ログを提供。製品改善のヒントに。
MaaS・決済システム開発	「地方×キャッシュレス」の社会実装実績 無人貸出や決済システムをテスト導入し、「スマートシティ事例」としての実績作りを支援。自治体向けパッケージ販売の足がかりに。

機体（ハードウェア）連携

「福祉用具」から、誰もが乗りたい
「パーソナルモビリティ」へ

じいちゃんはWHILL、孫はキックボード。
最強の「家族編隊」を組みましょう。
世代を超えて同じ景色を楽しむための、
新しい「ランドクルーザー」として再定義します。



連携パートナー候補	一緒に実現したいこと（共創アイデア）
パーソナルモビリティメーカー	「オフロード・浪江モデル」 未舗装のあぜ道や海岸線も走れるタフな機体活用。あるいは、着物や甲冑（サムライ）のラッピングで、インバウンドが写真を撮りたくなる「映え機体」へ。
キックボード等のモビリティ事業者	「異種モビリティ」の混合艦隊 若者はキックボード、シニアはWHILL。速度域の違う乗り物を安全にリンクさせ、三世代ファミリーが並走してツーリングできる、世界初のツアー形式。
アウトドア用品メーカー	「チェアリング」装備の実装 景色の良いところで停めて、そのままテーブルを出して珈琲を飲む。モビリティを「動くリビング」にするアタッチメント開発。

広報・ブランド連携

「被災地」から「未来」へ。街のアイコンを変える

単なる移動手段ではありません。
街の再生を象徴する「景色」として発信してください。
「かわいそう」な福祉文脈ではなく、
「かわいい」未来文脈で世界へ伝えます。



連携パートナー候補	一緒に実現したいこと（共創アイデア）
テレビ局・新聞・Webメディア	「キャスター・クルーザー」 ロケ取材時の移動車として活用。アナウンサーがWHILLに乗ってレポートすることで、「復興の足＝先進モビリティ」という新しい画（え）を作る。
インバウンド情報メディア	「Deep Japan」の象徴として 「東京・京都の次はここだ」。復興のリアルな現場を最新モビリティで駆ける体験を、欧米豪の富裕層向けに「アドベンチャー・ツーリズム」として特集。
イベント・祭実行委員会	「公式モビリティ」ブランディング 地域のお祭りやイベントで、法被（はっぴ）を着たスタッフや参加者がWHILLでパレード。伝統と未来が融合する象徴的なシーンを演出。

パートナーシップによる4つのメリット



R&D / 実証データ

地方・観光現場という「非日常」環境での
製品テストとデータ取得が可能。



新規収益 / 客層

インバウンド富裕層という高単価な客層への
アクセスと、自社コンテンツの回遊性向上。



CSV / ブランド

福島・浪江町の復興と地域課題解決に寄与する、
社会的意義のあるプロジェクトへの参画。



横展開 (Scalability)

システムと運用拠点 (GS) があれば、全国の
城下町やアートの街へパッケージ展開が可能。

共創による価値創造サイクル

共創パートナーシップの全体像

観光協会、美術館、
地元企業（飲食店など）



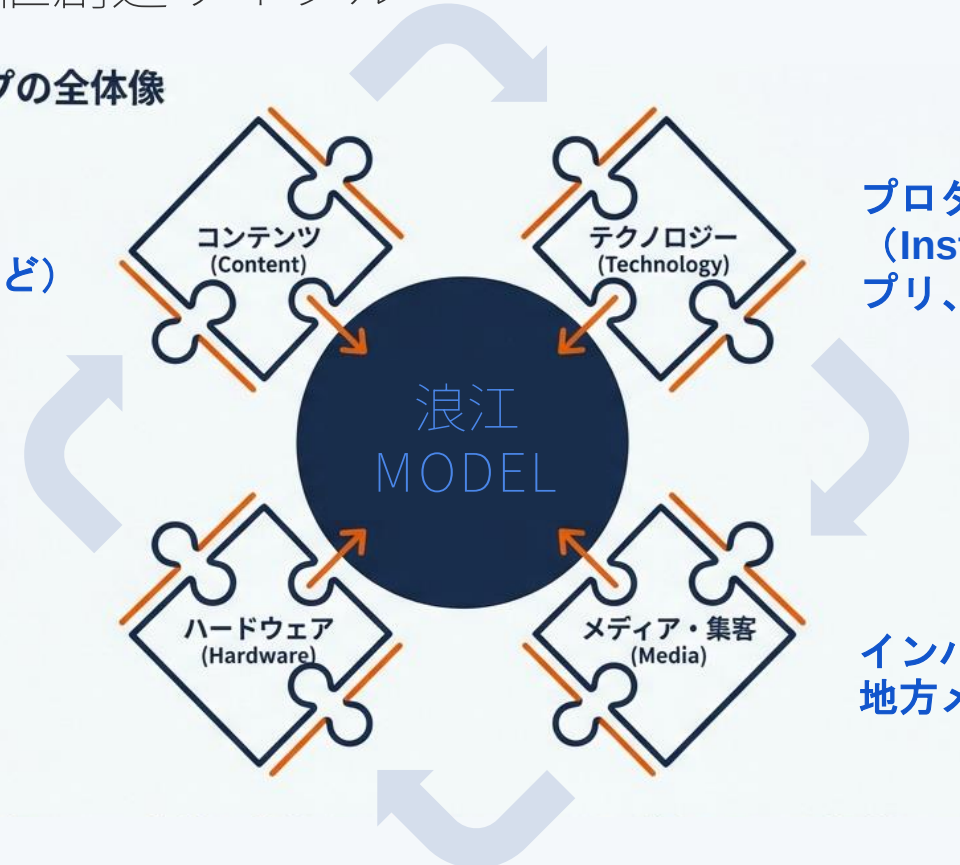
プロダクト開発企業
(Insta360、音声ガイドア
プリ、決済SaaSなど)



インバウンド系メディア、
地方メディア

モビリティ関連

浪江
MODEL



The diagram illustrates the '浪江 MODEL' (Nagasaki Model) as a central dark blue circle. Surrounding it are four diamond-shaped puzzle pieces, each representing a different sector: Content, Technology, Media, and Hardware. Each piece has an orange arrow pointing towards the center. The entire model is framed by a light blue circular arrow, indicating a continuous cycle of collaboration and value creation.

移動の「不便」を「価値」に変える

～パーソナルモビリティを活用した日常・業務のアップデート～



- 日常：「移動が億劫」を「移動が楽しい」へ。街の回遊性を向上。
- 業務：施設内の移動負荷を軽減し、人手不足やロスを解決。



ワーキンググループ (WG) の問いかけ



- 現場の「小さな困りごと」を起点にニーズを深掘り
【意見交換テーマ例】
- 広大な現場での移動時間ロス
- ラストワンマイルの欠如による集客機会の損失
- 「こんな機材があれば解決するのに」という具体的な要望



共創パートナーシップと今後の展開



- 機材提供パートナーとの連携：最新機種を導入・マッチング。
- 実証実験から事業化へ：興味のある企業・団体様とサービスを共同開発。
- 社会実装：「移動を伴う新しいビジネスモデル」の確立。



ハード（機材）とソフト（サービス）を組み合わせ、次世代の移動文化を共に創りましょう。
まずは皆さんの「現場の声」から、全てのプロジェクトが始まります。



Society
Of
Mononofu
Autonomy

浪江駅西側エリアでの 馬とのふれあい

資料4-2 119

一般社団法人SOMA
(ノーマ・ホースヴィレッジ運営)
共同代表 高橋大就

2024年12月に室原地区に「ノーマ・ホースヴィレッジ」を開園、乗馬体験・レッスン、ホーストレッキング、ホースマンシップ講習、ホースセラピーなどのサービスを提供し馬事文化に根差した事業を展開しています。



120



Society
Of
Mononofu
Autonomy

ノーマ・ホースヴィレッジ

浪江駅西側エリアに乗馬体験や餌やりなど馬とのふれあいができる場を設ける



道の駅なみえでのポニー乗馬体験

(3月21日(土)・22日(日)も実施します) **121**



ランちゃん（重種）が馬車の練習をしている様子 122

浪江駅西側エリアで馬を使った農業を体験できる機会を設ける



酒井地区での馬を使った代かき



酒井地区での馬の浮き輪引き



ノーマの谷でのニンジン栽培



収穫したニンジンを馬にあげる様子 123



Society
Of
Mononofu
Autonomy

アイディア③：馬耕体験

- 馬と触れ合いたい方 / 乗ってみたい方
- 馬と触れ合う仕事がしたい方
- 馬の扱いができる方



浪江水素ステーション

自己紹介

前司 昭博 ※浪江町生まれ、育ち、現在在住

【名字】前司 【読み】ぜんじ 【全国人数】 およそ100人

株式会社伊達重機（浪江水素ステーション） 代表取締役

株式会社浪江商事 代表取締役

【地域団体】

浪江町商工会青年部、浪江町消防団、富岡ロータリークラブ

【地域団体経歴】

一般社団法人浪江青年会議所 2019年理事長

浪江町商工会青年部 2021～2022年部長

株式会社伊達重機

住 所：福島県双葉郡浪江町大字酒田字上原18-7

創 業：1985年4月

営業内容：クレーンリース、一般貨物運送事業、
カーリース、ビジネスホテル業

売 上 高：18億円

社 員 数：67名

きっかけ：社長がJCIでSDGsを学ぶ

SDGsへの取り組みたい

今後、重機は電気ではなく水素

FH2Rの立地、浪江町水素タウン構想に賛同

地元企業で誰も手をあげない



環境省：第1回「FUKUSHIMA NEXT」表彰制度

奨励賞 前司 昭博（浪江町商工会青年部 部長）

浪江町産玉ねぎを使用した料理の開発を通じた風評払拭と浪江町への地域貢献

環境省：第2回「FUKUSHIMA NEXT」表彰制度

特別賞 前司 昭博（株式会社伊達重機 代表取締役）

相双地区初となる定置式商用水素ステーションを開業。FH2Rからの再生可能エネルギーから作られる水素供給により、水素エネルギーの地産地消を行っている。

浪江町：なみえ脱炭素アワード2024授賞式

最優秀賞 株式会社伊達重機

同社による水素ステーションの運営と、水素需要創出のためのFCVリース事業を組み合わせ、地域の水素需要の拡大と普及啓発を行いました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



水素社会実現に向けて

世界中でゼロカーボン(CO₂などの温室効果ガスを削減し、森林の吸収分と相殺して、実質的に排出量をゼロにすること)社会を目指しています。その中で、CO₂を排出しないクリーンなエネルギーである水素が大きく注目されています。

取り組まないと
どうなる？



(例)
イメージ
です



砂漠化

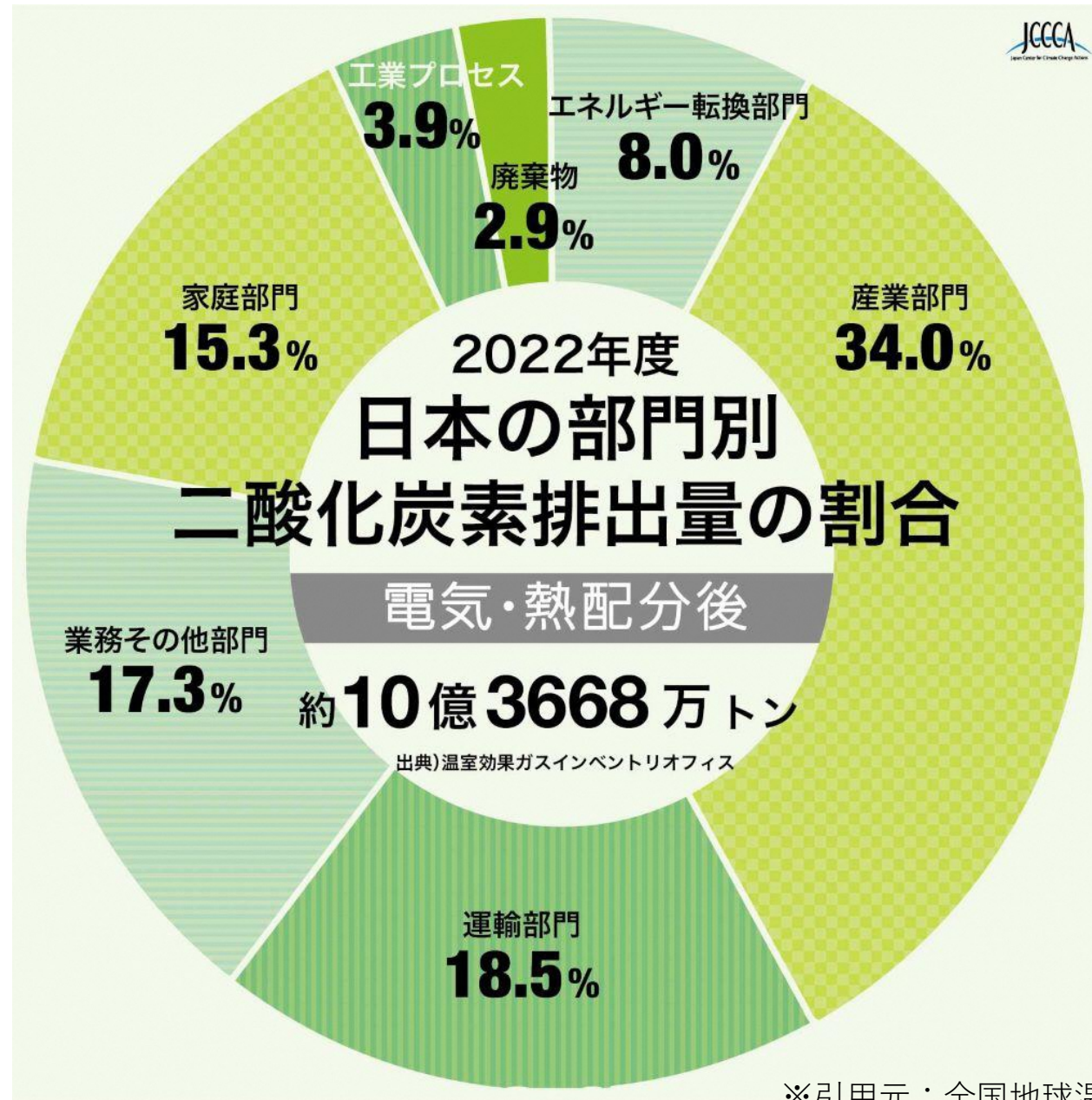


異常気象



海面上昇

上記等の理由から、食料不足、健康障害、生計崩壊の可能性があります。



※引用元：全国地球温暖化防止活動推進センターHP



浪江水素ステーション

※当水素ステーションは、日本水素ステーションネットワーク合同会社（JHyM）との共同事業です

住 所：福島県双葉郡浪江町大字川添字上加倉67-1

水素供給設備 水素供給能力：中規模
供給方式：オフサイト

敷地面積：1,520m³

事業開始日：2022年12月12日

営 業 日：日曜日・祝日を除く

（自社カレンダーによる）

ステーション機器メーカー：岩谷産業株式会社

水素仕入先：株式会社巴商会、NEDO



特徴

- ・併設でなく、単独設置。
- ・F H 2 R からグリーン水素を仕入れて提供している。

弊社 ↔ 浪江町役場 ↔ N E D O

市場を壊さないため、仕入単価は市場相場

- ・F H 2 R が立地する、浪江町が水素タウン構想を掲げているため、水素関連（実証事業、視察）が活発
- ・浪江町では、居住人口2, 0 0 0人で、F C V が約7 0 台が走っている（弊社F C V リース5 0 台含む）

問題点

販 売 車が少ない、増えない

仕 入 水素代が下がらない

仕入れ先が遠い

点検整備 定期点検費用が高い

定期点検で2週間ストップする

故障個所によるが修理まで2週間かかる場合がある

社 員 高圧ガスの資格が特殊で所有者が少ない

自立した経営を目指して



運搬費を圧縮するために、
トレーラーを購入し、自社
で運搬

(2023年7月)

その他取組①

水素社会実現による持続可能な地域へ

浪江水素ステーション

SDGsへの取り組み

- CO₂排出ゼロのFCVで脱炭素社会を目指す
- 持続可能な水素エネルギー普及を推進

SDGsとは、2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です。

2022/12/12 **OPEN**

水素1kg 1,650円 (税込)

水素の「地産地消モデル」として浪江町のFH2Rから生産されたグリーン水素を一部供給しています

※東京2020オリンピック・パラリンピック仕様車

●営業時間 9:00~18:00
●定休日 日曜日、祝日
●TEL 0240-25-8001

FCV(Fuel Cell Vehicle)とは、燃料電池自動車。水素から電気を発電し走行します。CO₂ 排出ゼロで走行する環境にやさしい自動車です。

トヨタ MIRAI ご試乗 (30分無料)

ご試乗、アンケート回答で抽選当選(抽選回数)リースも行っております。※月66,000円(税込)新車・中古車購入のご相談も承っております。

住所 福島県双葉郡浪江町川添字上加倉67-1
アクセス 浪江ICから車で3分 国道114号線沿い ローソン浪江下加倉店様向かい
決済方法 クレジットカードのみ

※開業の金額等内容は予告なく変更になる場合がございます。

D 株式会社伊達重機
クレーンリース・一般貨物運送業・水素ステーション運営
浪江水素ステーションは、株式会社伊達重機と日本水素ステーションネットワーク株式会社(JkyM)との共同事業です。

オープン前に、中古のオリパラ仕様ミライを50台購入し、事業者向けにカーリース。

(2022年1月)

事業者、地域住民向けに30分無料試乗。

(オープンから)

水素社会実現に向けて

世界中でゼロカーボン(CO₂などの温室効果ガスを削減し、森林の吸収分と相殺して、実質的に排出量をゼロにすること)社会を目指しています。その中で、CO₂を排出しないクリーンなエネルギーである水素が大きく注目されています。

取り組みないとどうなる?

上記等の理由から、食料不足、健康障害、生計崩壊の可能性がります。

今、社会が変わり始めています

火力、原子力 → 再生可能エネルギー

ガソリン車 → EV・FCV

なぜ、水素なのか?

- 水素は使用時にCO₂を出さない。
- 水素は無限に作り出すことができる。
- 水素は長距離輸送、長期保存できる。

FCVとは、水素で発電した電気でモーターを動かして走る燃料電池自動車です

FCVのメリット・デメリット

メリット

- 排出ガスを出さない。
- 走行時の騒音が少ない。
- 短時間で燃料を補給できる。

デメリット

- 自動車の価格が高い。
- 水素ステーションが少ない。

※1 チラシの内容は伊達重機の発行であり、内容を保証するものではありません。※2 FCVの仕様については、販売店にてご確認ください。

その他取組②



イベント主催で、浪江町様とトヨタ自動車様と連携して、水素電源車から会場へ電気を供給。

(随時)

浪江町他近隣市町村のイベントにてブース出展。

F C V 展示とチラシ配布
(随時)



その他取組③

浪江町内で行われる実証実験に保安管理やガス取扱で業務委託を受注する

【NEDO実証】

福島水素充填技術研究センターの保安・運用業務の委託

（2023年～現在）

【環境省実証】

既存のインフラを活用した水素供給低コスト化に向けたモデル構築・実証事業

（2024年12月～現在）

その他取組④

短期のビジネス・観光向けに浪江駅前でF C Vレンタカーを開始。水素の町をP Rするために、駅前駐車場に常時F C Vを展示予定。

(2023年9月)

水素のまち
浪江町

水素を 身近に 気軽に

浪江FCVレンタカー

SDGsへの取り組み
CO2排出ゼロのFCVで脱炭素社会を目指す
持続可能な水素エネルギー普及を推進

2023/9/27(木)
OPEN

浪江町へ、ビジネス・観光で来たら、空気を汚さない。

※FCVは走行時、CO2排出ゼロ。浪江水素ステーションの水素は地産地消モデルとして、浪江町のFH2Rから生産されたグリーン水素を一部供給し、燃料も走行もCO2排出ゼロ。

3時間	6時間	12時間	24時間	30分
5,000円	8,000円	9,000円	11,000円	無料

※30分無料試乗のみ。浪江水素ステーションで貸出返却になります。

住所 福島県双葉郡浪江町権現堂新町17-1
(ホテルなみえ西側テナント)
電話番号 090-6385-1159

予約方法 電話にてご予約ください。
営業日 日・祝以外
(カレンダーによる)
※返却のみ日祝対応プランあります。
営業時間 9:00~18:00

浪江駅から徒歩約4分

●燃料代について
ご出発時水素ガス満タンで貸出しますので、ご返却前に浪江水素ステーションで充填してください。
※燃料は別途清算となります。(浪江水素ステーションはクレジットカード決済のみとなります。)
●支払い方法について
前金制・クレジットカード決済のみとなります。
企業様は別途ご相談承ります。

浪江FCVレンタカー並びに浪江水素ステーションは、株式会社伊達重機の事業です。

**福島県水素ステーション連絡協議会設立
(2024年3月)**

正会員 根本通商株式会社

ふくしま hidro サプライ 株式会社

佐藤燃料株式会社

株式会社伊達重機

贊助・特別會員 福島県、他38會員



(目 的)

第3条

本会は、福島県の水素社会実現の一助とすることを目的とするとともに、その目的に資するため、次の事業を行う。

水素ステーションの情報提供

催事等での水素ステーションPR

水素関連実証実験等への協力

人材育成

先進地視察

行政への政策提言（保安業務及び補助支援制度等）

前各号に付帯する一切の業務

その他取組⑥

ご当地ヒーロー企画で、水素について理解を深める活動の実施。

(2021年11月)





- ・ なみえアベンジャーズグッズの販売
- ・ 除染した土地でつくられたものを提供
- ・ ご当地グルメの提供
- ・ 失われそうな郷土料理の継承
- ・ 地産地消
- ・ 3月26日頃に、新町通りを復活させる
たまに移転オープン



**2.8.sat
GRAND OPEN!**

和ダイニング
なみえアベンジャーズバル

郷土料理・じゃうねん餅 請戸もの・しらすおろし ご当地グルメ・なみえ焼そば 浪江町産野菜・季節の煮物

※写真はイメージです。メニューの一部を掲載しております。季節によって提供できない場合がございますので、ご了承ください。

コンセプト和風ダイニングバー。浪江町の美味しい!楽しい!怪しい!?を提供いたします。

TEL : 050-8883-8521 席数 : 24席
住所 : 浪江町大字幾世橋字六反田7-2 まち・なみ・まるしえ内
営業時間 : 17:00~23:00 (L.O22:30) 定休日 : 日・月・祝
※詳しい営業情報はSNS又はTELにてご確認ください。
店内レンタルショーケースで、なみえアベンジャーズグッズや特注大塚相馬焼等販売いたします。

1ドリンク無料券
お一人様一回限りとなります。
料理と一緒に注文される方に限ります。
使用時は、注文前にお名前を記入してお渡ください。
お名前 : _____
使用期限 4月30日(木)まで

スタッフ募集中心! レンタルショーケース出品者募集中! クラウドファンディング挑戦中!

facebook X Instagram

CAMPFIRE

ご支援はこちら!

その他取組⑦

FC小トラの導入
(2026年1月)



※令和8年2月18日時点の情報です

その他取組⑧

- ・ 浪江水素ホテル
- ・ 環境省実証
- ・ 水素ステーションから水素を供給
- ・ 水素設備からCO2の排出はない
- ・ FCVからのCO2の排出はない
- ・ グリーン水素使用でCO2の排出はない
- ・ CO2を排出しない暮らしが体験できる
- ・ 2026年3月17日オープン予定

浪江水素ホテル

世界の最先端、水素社会。
二酸化炭素を一切出さない暮らし。
世界初の水素100%ホテル。

一棟貸

1泊2名
夕食(BBQ)、朝食、
飲み物、レンタカー付
¥100,000 (税込)

夕食(BBQ)
一名追加当たり
¥9,000 (税込)

2026.3.17 TUE
GRAND OPEN!

燃料電池

デンヨー製商品
発電能力8kW
(引用元：デンヨー株式会社)

水素グリル

リンナイとトヨタの開発
水素グリラー
(引用元：リンナイ株式会社)
※写真はイメージです。

水素給湯器

パロマ製の実証機
水素専焼タイプの24号相当
(引用元：株式会社パロマ)

営業時間：11:00～21:00
定休日：日・月・祝
住所：〒979-1531
福島県双葉郡浪江町大字川添字上加倉68
※実証期間中、夜間は水素ステーションの水素供給が止まるため、再エネ由来の電気に切り替わります。

TEL：0246-24-2555 (ホテルなみえ)
WEB：<https://hotel-namie.jp/>